

「動物愛護」の提案が実現

神奈川県議会議員 公明党 鈴木ひでし

新たな時代、「令和」の首輪が外れてしまったり幕が開けました。私自身も、県議会議員5期目のスタートとなり、改めて身の引き締まる気持ちです。皆さまから受けた熱い思いを力に、県民生活向上のため一層力を入れてまいります。

そこで、私が勧めているのがマイクロチップです。マイクロチップは迷子になっても確実に飼い主が分かる優れた方法であり、しかも、犬や猫への負担が少なく、破損

なお、装着したら必ず飼い主情報などをAIP O(※1)に登録してください。登録していないと飼い主のもとに戻るための情報が分からないため、センターなどに保護されても返すことができなくなってしまう。

その結果、県は愛護を象徴する新センター内の部屋に対してネーミングライツパートナーを募集し、3つの部屋のパートナーと愛称が決まりました。(詳細表参照)。

毎年800頭が収容

神奈川県動物保護センターでは、平成25年度に保護した犬の殺処分ゼロを達成し、翌年度には猫についても殺処分ゼロを達成し現在に至るまで継続しています。

しかしながら、センターに収容される犬猫がいなくなったわけではなく、依然、毎年300頭を超える犬、500頭を超える猫が、新たに収容されています。

さらに、現在、神奈川県は老朽化した動物保護センターを、「動物を生かす施設」に転換するため、建替え工事を進めており、この6月には「動物愛護センター」として完成予定です。私は、この新しいセンターをより魅力的な施設とするため、ネーミングライツパートナー

私はいきなりと考えると、様々な角度から活動していきたいと思っています。今後、神奈川県が動物愛護の先進県として全国を牽引役となれるよう、

飼い主不明でセンターに収容される犬は、決して野犬などではなく、ほぼ100%飼いが逃げたり迷ったりしたものです。犬は、狂犬病予防法で鑑札や注射済票を付けることになっていますが、迷子になった場合、強い力が加わって鑑札等が破損したり、痩せてしまいうる。

そのため、一昨年度の県議会で、私から犬や猫へのマイクロチップの普及推進を県に提言したところ、県は昨年7月から飼い犬に対するマイクロチップの装着費用の補助を開始しました。(県の補助金は横浜市、川崎市、相模原市、横須賀市は対象外※横浜市は犬、猫に対してマイクロチップの補助金1500円を補助しています)

※1…AIP Oとは、Animal ID Promotion Organization (動物ID普及推進会議)の略称です。犬、猫などの動物個体識別の普及推進を行っている組織

AIPO事務局:
☎03-3475-1695



モットーは「まかせて安心!いのちと生活を守る!鈴木ひでし」。

第109代神奈川県議会副議長、県監査委員、公明党県議団団長などを歴任。現在、議会運営委員会(副委員長)、防災警察常任委員会に所属

HP <http://www.hideshi-suzuki.com/>

<マイクロチップについて>直径2mm×長さ約8~12mmで、15桁の数字を記録。この固有番号を専用機器で読み取ることによって個体識別する方法で、世界中で広く使われています。番号が書き換えられることがなく、電池が不要で半永久的に使用できます。



新しい動物愛護センターのネーミングライツパートナー

室名	ネーミングライツパートナー	愛称	部屋の用途
ふれあいホール	アニコム損害保険㈱	アニコムふれあいルーム	譲渡会や動物愛護普及活動等のイベント開催などが行えるスペース
WAN(ワン)ルーム(犬)	学校法人 湘央学園	湘央学園WANルーム	犬の室内飼養のモデルルーム
NYAN(ニャン)ルーム(猫)	㈱ハチたま	toiletta(トレッタ) NYANルーム	猫の室内飼養のモデルルーム